

## 河川事業の再評価概要書

( ) は、前回再評価時

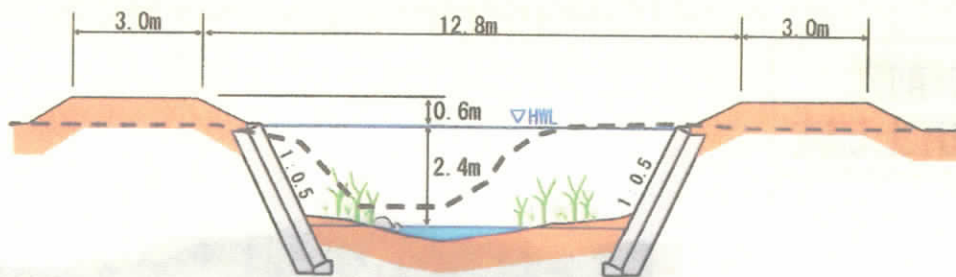
番 号		4	
事業主体		栃 木 県	
事業名	安全な川づくり事業	事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 武名瀬川	事業箇所名	下野市、上三川町
事業区間	下野市谷地質地先～ 上三川町上蒲生地先	事業延長	6,500m
平成9年度事業化		平成9年度用地着手	平成11年度工事着手
事業期間	H9 ～ H38	事業進捗状況	基準年次：【平成28年度末時点】
〔うち用地補償費〕 全体事業費	[14.0億円] 61.3億円		〔うち用地補償費〕 既投資事業費
事業概要			
<p>武名瀬川は、宇都宮市下栗町地先に源を発し、宇都宮市南部の農地を流下し、上三川町を経て、下野市で田川に合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変化 等			
・計画区間上流では、宅地化が進んでいる。			
事業の投資効果			
① 費用対効果分析結果			
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
1) 事業全体	B/C=4.5	328.8億円	72.8億円 [L=6,500m 区間]
2) 残事業	B/C=5.4	147.1億円	27.5億円 [L=3,400m 区間]
② 事業の整備効果等			
整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。			
事業の進捗状況等			
① 事業の進捗状況			
事業延長6,500mのうち、下流端から新4号国道上流地点までの約3,100mの整備が完了している。			
② 今後の事業進捗の見込み			
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。			
コスト縮減等			
① コスト縮減方策			
河川工事で発生した土砂は、他事業へ流用し、工事費の縮減を図っている。			
② 代替案立案等の可能性			
河道整備と併用して上流端付近に遊水地を設置する案があるが、計画区間上流では、宅地化が進み、遊水地の適地がないため本計画が最適である。			
事業の対応方針 (案)	現計画で事業を継続する。		

# 事業箇所(位置図、概要図)

位置図

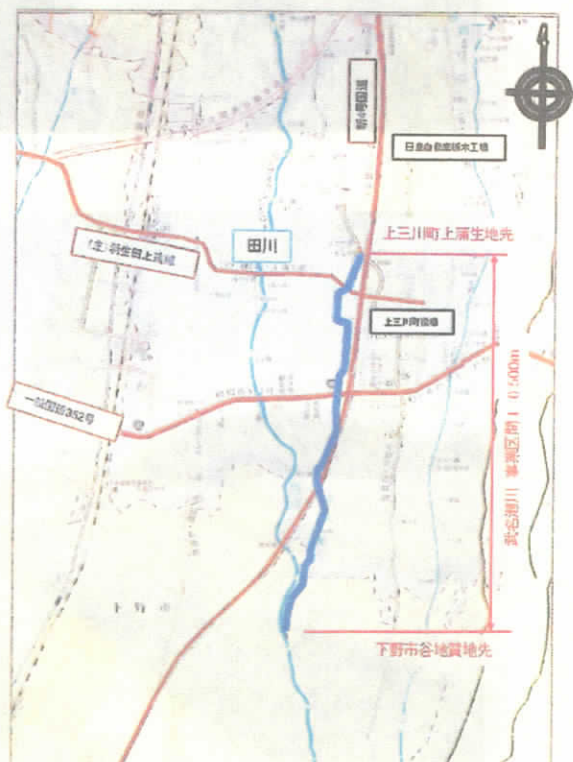


標準断面図



計画流量	50m <sup>3</sup> /s
現況流下能力	概ね20m <sup>3</sup> /s

概要図



①出水状況  
新4号国道下流



②改修前  
新4号国道上流



③改修後  
新4号国道上流

